■平成29年第2回定例会議案一覧

議案番号	議案名
37	人権擁護委員候補者の推薦（樽谷初男　氏）
38	人権擁護委員候補者の推薦（河合佐江子　氏）
61～39	農業委員会委員の任命
62	専決処分の承認（市税条例の一部改正）
63	専決処分の承認（国民健康保険税条例の一部改正）
64	市税条例の一部改正
65	財産の低額貸付け（田原町地内三河田原駅南側の一部）
66	公共下水道東部ポンプ場及び中部ポンプ場更新（長寿命化）の工事委託に関する協定の締結
68	堀切地区津波避難マウンド整備工事請負契約
69	道の駅田原めっくんはうすリニューアル工事請負契約
67	**平成29年度補正予算** 一般会計（第1号）

主な質疑

議案に対する委員会・本会議での議員の質疑・意見です

議案 No.62 市税条例の改正を市長が専決

問 軽自動車税の賦課徴収の特例は、自動車メーカーの燃費不正事件を受けて創設されたものと思うが、田原市の該当件数は。

答 平成28年度課税分は56台。内訳はすべて軽四輪自動車で、グリーン化特例50％軽減から25％軽減となったものが12台、25％軽減から特例の適用がなくなったものが44台である。

問 56台で不足税額はいくらになるか。

答 不足税額は1台あたり2700円で、合計15万1200円。平成28年11月に自動車メーカーから個々の所有者名義で全額支払い済みである。

（6／15 総務産業委員会）

議案 No.65 三河田原駅南側の市有地の一部を低額で貸し付け

問 三河田原駅前工場跡地活用事業用地を低額で貸し付けるに当たり、金額を年間173万7400円とした根拠は。

答 土地の固定資産税相当額147万4200円と都市計画税相当額26万3200円の合計173万7400円とした。

問 株式会社あつまるタウン田原に貸し付ける優遇措置の期間を、ABホテル株式会社の10年に対し、30年とした理由は。

答 ホテル誘致では、10年間を優遇措置とする条件で応募があったが、工場跡地では、同じ条件では進出予定者がなかった。そうした経緯もあり、第三セクターであり、まちづくり会社でもある、株式会社あつまるタウン田原に事業連携をお願いし、貸付期間を商業施設の耐用年数と同じ30年に設定し、優遇措置条件も30年にしたもの。

（6／15 総務産業委員会）

議案 No.66 公共下水道東部ポンプ場及び中部ポンプ場更新（長寿命化）工事を委託

問 今回の長寿命化工事により、耐用年数はどのようになるのか。

答 耐用年数は、10年から15年ほど延命すると考えている。

問 工事期間中に大雨が降った時も、問題なく対応できるのか。

答 工事は大雨が降るような期間は避け、また、今回の工事はポンプ本体ではなく、ポンプの周りの機器の取り替えであり、ポンプ2台のうち1台は稼動するよう作業を進めるので、問題ないと考えている。

（6／15 文教厚生委員会）

議案 No.67 平成29年度補正予算　一般会計 赤羽根地区に診療所開設

問 赤羽根地区にできる診療所の概要は。

答 赤羽根福祉センターの旧保健センター部分で、面積は約500㎡。処置室や診察室、レントゲン室を備えた一般の内科の診療所を予定している。